

軽井沢新聞

7月号

July
2020編集局 Tel.0267-46-3001 Fax.0267-46-3880
〒389-0111 長野県軽井沢町長倉 2380-27身近な情報を編集局までお寄せ下さい ● E-mail info@karuizawa.co.jp
広告に関するお問い合わせ ● 株式会社アドエイド Tel.0267-46-0055

軽井沢人物語



建築家・青山学院大学総合文化政策学部教授
團 紀彦 さん

「共生」を意識し、
1 + 1 = 3 になるような調和を

軽井沢町庁舎改築や一定規模以上の開発など、景観に影響する事業に対し、助言などを行う景観アドバイザーに4月から就任した。田中康夫県政のとき、県のマスターアーキテクトとして、町のまちづくりに関わった経験も生かしていく考えだ。「開発ではなく、再生と共生を意識して、軽井沢にどういうものが合うか、思いを伝えていきたいですね」。

セゾン現代美術館の理事で、7月26日から始まる企画展のゲストキュレーターを務める。「都市と共生」をテーマにした自身のスケッチや資料をはじめ、美術家・大久保英治さんの新作インスタレーションなどを展示。建築家として、「共生」は常に頭の片隅にあるキーワードだ。

「ただ建てるのではなく、都市と自然、人間と自然の共生を意識して、1足す1が3になるような、調和を考えないといけな。軽井沢はまさに、その両方を大切にされてきた街だと思う」

大学時代、軽い気持ちで建築学科を選んだこともあり、建築が好きな周囲の学生と、毎週揃って建物見学に行くのが苦痛だった。そんなとき、古本屋で過去の偉大な建築家たちの

スケッチに出会い、勇気をもらった。「いろんな人がいていいと思えたんです。5人いたら5通りのやり方があるんだって」

国内では、表参道ケヤキビルの設計、日本橋コレド室町の街区と街路の再生計画のデザインを担当。台北桃園空港第一ターミナルの改修計画では、2014年に台湾建築賞を受賞している。30年前の建物を耐震構造にし、年間利用者が1500万人に増えても耐えられるよう作り変えた。

「建築や都市も、生き物のように少しずつ成長し老化していく。そのときに、過去の糸を全て断ち切るのではなく、新たな糸の結び目をつくっていく流れを大切にしたい。過去と未来の共生ですね」

現在は台湾の離島にある4つの空港の設計プロジェクトなども手がける。

相模湾に面する神奈川県葉山町で生まれ育った。山よりも海の方が馴染み深く「もう一回命があったら、軽井沢のような山の近くでも暮らしてみたいですね」。

小さい頃から素潜りが得意。64歳の今も、手錶を片手に海へ潜り、捕った魚を料理するのが楽しみだ。

6月19日以降、都道府県をまたぐ移動が全国的に緩和され、軽井沢町を訪れる観光客も徐々に増えてきている。旧軽井沢銀座の輸入洋品店のスタッフは7月4日、「出歩く人は増えているが、去年の同じ時期に比べたらまだまだ。外国人観光客がいないのは大きい」と話した。

新型コロナウイルスの影響で打撃を受けた事業者を支援しようと、町は町内施設で使える商品券を全町民に配布する。商品券は500円10枚綴り。7月1日時点で軽井沢町に住民基本台帳がある町民が対象。各家庭の世帯主へ、9月中に家族の人数分郵送する。

使用期限は10月1日、2021年1月31日。利用できる店舗は7～8月に軽井沢町のホームページなどで公募する。商品券とは別に、町内の宿泊施設の利用が3000円割引きされるクーポン券も発行する。147施設で利用でき、先着順。8月1日以降の予約で、10月1日～2021年1月31日までの宿泊者が対象。クーポン利用者はお土産店や飲食店で使える1000円割引券がもらえる。

6月5日、町議会6月会議散会のあいさつで、藤巻町長は夏場のスパーマーケットなど大型商業施設の混雑緩和に向け「軽井沢の新しいマナー」の実践を提案した。自動車のナンバーの末尾数が奇数なら奇数日に、偶数なら偶数日にお店を利用してもらうというもの。期間は7月1日から9月30日。強制ではなく、協力してもらえ人へお願いという形だ。



7月4日の旧軽井沢銀座。休業していたお店もオープンし、観光客も戻りつつある。

車ナンバー末尾で、買い物客分散 5千円分の商品券、全町民へ

6月のクマの目撃情報が、50件(昨年は16件)に上ったことがわかった。例年だと、限られたエリアに集中することが多いが、今年は新軽井沢、千ヶ滝、追分、南軽井沢など、各地域で異なるクマが目撃されている傾向がある。

広いエリアで、複数の子グマ出没 5～6月の目撃情報、50件

ている」と説明する。

同法人では毎冬、電波発信器をつけたメスグマの冬眠穴近くにカメラを設置し、新たに生まれた個体数を調査しているが、「去年は出産が結構あったので、今年は目撃情報が増える」と予測していたという。

目撃者から町に通報がある、連絡を受けたピッキオのスタッフが、ベアドッグ(クマ対策犬)とともに現地へ赴き、クマの匂いを頼りに追尾クマを見つけたらベアドッグに吠えさせ、恐怖心を植え付けて森の奥へと追い払う。また、目撃場所付近に罾を設置し、捕獲したクマには発信器を装着。ベアドッグの鳴き声や花火などで威嚇しながら放獣し、人や犬に近づくと怖いとクマに学習させている。

クマと至近距離で出会わなために、クマ鈴を持つことは有効だ。田中さんは「鈴の音が近づいてくるのがわかれば、クマもパニックにならない。精神的にゆとりがで、むかってくることはほとんどない」と話した。



クマが目撃された場所には看板を設置。メール配信サービスでも、クマの目撃情報を発信している。

軽井沢で安心のリフォーム店をお探しの皆様へ

※住宅リフォーム補助金が支給されています。詳しくはお問合せください。

三井のリフォーム 5つの約束

1. お客様のご要望をすべてお聞きします。
2. 資格の無い監督には任せません。
3. 追加工事はおお客様のご確認をいただいた後で。
4. 価格以上の満足をご提供します。
5. 今まで過ごされた思い出を大切にします。

平成27年5月26日受賞
全国第1位の社長表彰をいただきました。

軽井沢町 住宅リフォーム補助金 対象企業

リフォーム一筋21年

三井不動産グループ 三井のリフォーム 軽井沢店 ☎ (0120) 278-321
〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢1323-42 <営業時間> 9:00～18:00 メール karuizawa@mitsui-reform.com

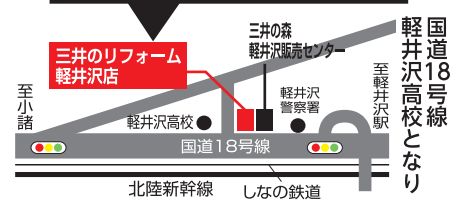


リフォーム専門店の
私たちにまかせください!!

- リビング・ダイニング
- キッチン・浴室
- 寝室・和室・書斎
- 外観・エクステリア
- 洗面・トイレ
- 水漏れ・雨漏り

あなた様のご予算に合わせて
ご提案させていただきます。
詳細はお問合せください。

見積り無料!!



施工事例多数掲載! 詳しくはWEBでチェック
WEBで検索 三井のリフォーム軽井沢店 検索